

◆ 期末更新処理（新規更新）の操作手順

（画面例はすべて『PCA 建設業会計 V.7』を使用しています）

■ 新年度のデータを入力したい場合は、「ファイル」－「期末更新処理（新規更新）」を行ってください。決算が未確定でも実行できます。

『PCA建設業会計V.7シリーズ』では、1年度ごとにデータ領域を作成します。新年度のデータを入力したい場合は、「期末更新処理」を行ったうえで、「ファイル」－「データ領域の選択」にて、処理したい会計期間を選択してください。

この処理を行うことにより、前期データ領域の「前準備」「工事情報処理」で設定した各種マスターの他に、残高、転送工事の残高も新年度の期首残高へ反映されます。

【操作手順】

① 作業中のトラブルに備え、「ファイル」－「データ領域のバックアップ」にて前年度のバックアップを実行します。

（例：ピー・シー・エー株式会社 第6期のバックアップを実行します。）

② メニューの「ファイル」－「データ領域の選択」を選び、前年度を選択して [OK] をクリックします。

（例：ピー・シー・エー株式会社 2021/04/01～2022/03/31 第6期を選択します。）



③ メニューの「ファイル」－「期末更新処理」を実行します。

※新規更新の場合、更新先領域は《 新規領域 》と表示されます。

※【税抜更新】【税込更新】は、会社の経理方法に合わせて選択してください。

一つの目安として、決算整理仕訳に仮受消費税等、仮払消費税等の相殺仕訳を入力し、税抜の決算書を作成している場合は【税抜更新】を選択し、免税事業者などで仕訳を税込で処理している場合は、【税込更新】となります。



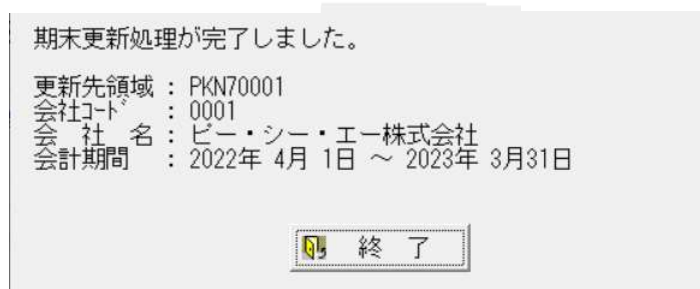
④ 「転送工事の選択」で新年度、転送しない工事を【削除】を押し転送しない工事に移動させます。完了しましたら【OK】をクリックします。

※未成工事、まだ入出金が残っている工事は転送していただきます。

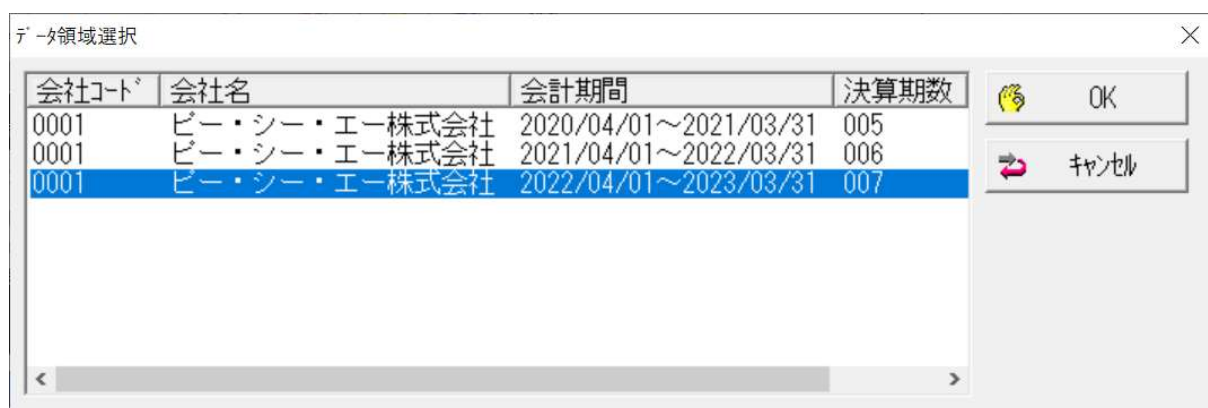
【注意】転送しない工事を誤って転送する工事で更新した場合、新年度で削除する必要があります。



- ⑤ 更新処理完了の画面が表示されますので、内容を確認し [OK] をクリックします。



- ⑥ メニューの「ファイル」→「データ領域の選択」を選び、新年度が表示されていれば完了です。
※新年度への入力の際は、新年度を選択し [OK] をクリックすることで領域が切替わります。
(例：ビー・シー・エー株式会社 第7期を選択します。)



新年度に切り替え、「前準備」→「期首残高の登録」・「工事情報処理」→「工事別残高の登録」等で残高の確認をしてください。

以上で処理は完了です。